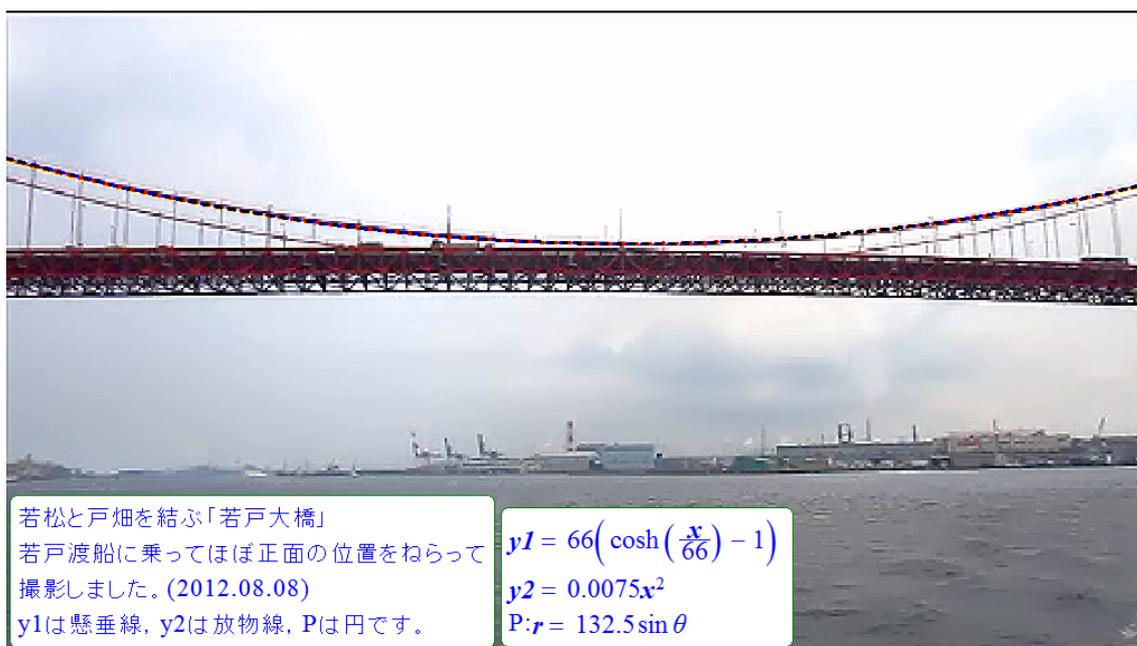


若戸大橋

福岡県北九州市の洞海湾にかかる戸畑区と若松区を結ぶ吊り橋で、1962年に開通。日本における長大橋の始まりで、建設当時は東洋一の吊り橋であったという。赤い色が美しい橋です。国道199号の有料道路です（橋長627m、最大支間長367m）。若戸渡船に乗ってほぼ正面の位置をねらって撮影しました(2012.08.08撮影)。

橋の写真を GRAPES の背景に貼り付けて、懸垂線、放物線、円と重ねてみました。主塔は2つで、この間の上部ワイヤーの曲線の形の範囲では、3つの曲線のどれかが重なります。



もう少し赤いきれいな若戸大橋の写真を、以下に掲載します。若戸渡船は時間にして3分弱で対岸に着いてしまい、往復で通る経路が異なります。戸畑から若松へは、橋に沿って航行し、若松から戸畑へは橋の下を交差して通ります。橋のすぐ近くを航行するので、離れた位置から橋の正面を主塔も入れて写真に撮ることは、今回はできませんでした。



JR 鹿児島本線戸畑駅前

から



若戸渡船の戸畑側乗場



戸畑側の船場から



若戸渡船乗り場から



船に乗って、出発前



若松側の乗り場から。

橋の下の船は戸畑に戻る連絡船。



同じく若松側から



戸畑側を見る



戸畑に戻る船から



JR 鹿児島本線戸畑駅ホ